



みはま 議会だより

6月議会
第2回定例会
第132号

CONTENTS【目次】

町政に問う！	3
こんな質問がありました	6
委員会報告	7

平成30年(2018年)7月25日

議案11件可決

6月定例会は、6月12日から15日までの4日間の会期で開き、報告3件、条例の制定、平成30年度一般会計等補正予算、監査委員の選任など、議案11件について審議を行いました。

また、「2025年国際博覧会の誘致に関する決議について」を可決しました。

なお、一般質問は3議員が行いました。

町政に問う！

一般質問 3議員が登壇

1 中西 満寿美 議員 3ページ

- 高齢者の交通手段の確保について
- 空き家対策について
- 「臨時情報」にどう対応するのか

2 北村 龍二 議員 4ページ

- きめ細やかな町の防災意識について
- 県条例施行後における当町の太陽光発電事業について

3 田淵 勝平 議員 5ページ

- 人口減少・少子化対策（婚活サポート事業等の廃止の影響は）
- 繰越明許されている田井畑地区津波避難施設について

一般質問



中西満寿美 議員

質問
空き家バンクの状況は？

答弁 1件、契約が
まとまる見込み

空き家対策

質問 日本の空き家数は2013年で820万戸、7戸に1戸の割合、2014年空き家等対策の推進に関する特別措置法が成立した。

本町でも、空き家対策は緊急の課題だ。対策を考える上で、空き家の詳細な実態調査が必要ではないか。

町長 平成29年度、区長会に依頼し、空き家と廃屋に分類した調査をした。実態調査は現時点では考えていない。

質問 三尾などの別荘地の調査はしたのか。

町長 していない。

質問 空き家問題に対処するため「空き家等計画」策定は必要ではないか。

町長 県内9市町が策定済み。県主催の研修会が実施されるので、それを受けて検討する。

質問 空き家バンクの状況は。

町長 登録件数5件、県外からの問い合わせがあり、今月中に契約がまとまる見込みが1件ある。

高齢者の交通手段の確保

質問 乗り合いタクシーを導入した熊野市に視察に行った。

本町でも高齢化が進み、バス停までの移動が困難な人や、免許証返納等で外出が難しい人が増えて

いる。交通手段の確保が重要となっているのでは。

町長 日ノ岬パーク線への補助金、外出支援事業を行っている。免許証返納はすすめない。

質問 御坊市の総合病院へ行くには、多額のタクシー代が入用となる地区もある。

また身体が不自由になって運転ができなくなる人も増えている。バス路線への補助金や外出支援事業をやっているからいいという問題ではない。

高齢化がすすむ中で、本町に合った交通手段の研究は欠かせない。また、外出支援事業の更なる充実が必要。

町長 今後とも研究はしていきたいが、現時点で支障はない。

臨時情報にご対応するか

質問 南海トラフ地震発生の可能性が高まったとき、気象庁が臨時情報を発表することになっているが、そのときどうするか。

町長 防災対応を一齐に開始できる仕組みを12月をめどにまとめると聞くので、これを注視したい。それ以前に出された場合は、自主避難を呼びかける。

一般質問



北村 龍二 議員

質問

既存の避難場所に、防災倉庫等は？

答弁 自主防災会で設置して欲しい

きめ細やかな町の防災意識

【質問】 今後も続々と建設される一次避難場所に滞在する時間が長時間になった場合、防災倉庫や簡易トイレは近くに必要ではないのか。

【町長】 確かに必要、食料や簡易トイレは今後建設を予定している浜ノ瀬地区や田井畑地区には、施行時に設置する予定。

【質問】 西山周辺の和田地区、入山地区、三尾地区には、同様に防災倉庫や簡易トイレは設置しないのか。

【町長】 一次避難場所は、

30箇所ある。各地区自主防災会の運営助成金を活用し、管理をお願いしている。

今の町の状況を考えると、避難出来る場所を確保することが最優先である。

何もかも高台に防災倉庫や簡易トイレが出来るというわけではない。

【質問】 何も30箇所に設置して欲しいと言っているわけではない。

現在進行しているところは設置を考えていて、既存の避難場所は自主防災会で運営して欲しいというのがわからない。これでは津波の被害者



▲簡易トイレ



▲防災倉庫

ゼロにはならないと思うが。

【町長】 西山一帯は、自主防災会の皆さんと話をしてみたが、現時点でそんな話はない。

今後このまま取り組んでいく。

自分達で出来ることはある程度やって欲しい。

県条例施行後の当町の太陽光発電

事業者と当町が事

前に協議する手続きや、各地区での説明会などは、どういった形でしていくのか。

【町長】 県条例を遵守していく。

【質問】 休耕田や山肌などで、太陽光発電設備を建設する際に、排水計画は県の基準をクリアしていれば、当町と合致しない場合でも建設のゴーサインは出すのか。

【町長】 県と町、場合によっては事業者と協議を行うので一方的な基準による建設の認定はあり得ない。

【質問】 太陽光発電が悪いとは言っていない。

普及を計りつつ、環境アセスメントに寄り添った条例を策定してはどうかと以前から言っているのだが。

【町長】 現時点で苦情が一件しかない。

メリットもデメリットもあるが、今後も町独自の条例は考えていない。

一般質問



田淵 勝平 議員

質問
どう？ 田井畑の津波避難施設。

答弁 H30年度で設計。
H31年度に工事。

質問 平成29年度に田井畑地区の津波避難施設の設計予算が計上されていた。

しかし突然「大川橋の耐震ができていますので田井畑の津波避難施設は造らない」とのこと。

過去の説明では「地震後、大川橋の使用が可能で津波が来ていなければ、西川を渡って新浜の築山に避難するのは良いが、基本的に川を越えての避難はしない方がよい」とまた「逃げおくれた人のために田井畑地区の避難施設が必要」と聞いていた。線越明許されている予算はどの理解すれば良いのか。

町長 2月に議会の意見を聞いた上で、地元田井畑地区と計4回協議をした。

その結果、平成30年度で設計を行うと決断した。

質問 建築予算の予測は。

町長 面積200㎡、高さ約9mで約2億5千万円と想定している。



津波避難タワーが建設される田井畑地区

質問 自治法213条で「事由」があれば線越明許できることになっているが「着手が遅れた」は「事由」とは言えない。線り越した理由は。

町長 大川橋の耐震の関係もあつたが、地元との協議に時間を要したと理解していただきたい。

大丈夫？人口減少・少子化

質問 東京大学大学院の増田寛也教授が発表した「増田レポート」によると、2040年までに896市町村が人口減少で消滅することだが、町長の見解は。

町長 この市町村も危機感を感じていると思う。消滅市町村にならないように頑張る。

質問 町の特殊合計出生率の目標は、2025年に2.1と設定されているが、現状は順調か、また今後の見通しは。

町長 出生人数、現在で年に10人不足している。合計特殊出生率算出に係る年齢層の女性人口が、毎年約40人ずつ減少している厳しい現実だ。

質問 「婚活サポート事業」と「マイホーム取得支援事業補助金」の廃止は政策の失敗か。

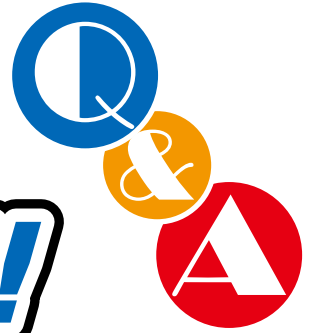
町長 行政評価の結果からだ。今後、婚活サポート事業は、周辺市町を参考にしたい。マイホーム取得支援は、建て替えや空き家バンクの方に力を注いでいきたい。

美浜町の人口戦略



▲美浜総合戦略より

こんな質問が ありました!!



在宅育児支援事業 費補助金（県）

Q 多子世帯の0歳児に月1.5万円を10ヶ月支給することだが、一人世帯の0歳児は対象にならないのか。

A 第2子以降が対象。第1子は対象外。

Q 近隣の町では、町単独でさらに月1.5万円を上乗せし、支給額を3万円としている所があるが、当町の考えは。

A 町としては、出生祝い金等をやっているの上乗せの考えはない。

地方創生事業 （吉原運動公園）

Q 国の拠点整備交付金の不採択による1,250万円の減額で、今後の事業展開はどうなるのか。

A 規模を縮小し、駐車場や歩道等の整備を行う。



Q 不採択となった理由は。

A 建物に付随するものは全国的に不採択と聞いている。

Q 不採択分を昨年度の申請に組み込めなかったのか。

A 広場整備として含まれていた部分もあったが、予算が少なく追加申請したが不採択となった。

Q 3月当初予算に計上していたが、交付金が決定した上で予算化するべきものではないか。

A 採択されるものとして計上した。

Q 減額による縮小計画図ではなんとも・・・町の方で費用を工面する方向も考えてみてはどうか。

A 予算が限られるため、まずは最低限の整備を進めていく。

田井畑地区 津波避難施設

Q 地域防災計画では、当初築山となっていた。いつタワーに変わったのか。

A 平成29年度予算で事業実施の可否も含めてお認めいただいている。

当初築山でと考えていたが、検討し高台は無理と判断した。
平成30年度は設計を行う。

Q 平成29年度から繰越となった理由は。

A 大川橋の耐震性について明確になったことや、今後についての地元との協議等に時間を要し、繰越させていただいた。

Q 場所は決まっているのか。

A 田井畑地区「コミュニティセンター横に、タワーを増設と考えている。築山からタワー、場所が変わっていること等、議会にしっかりと説明できているのか。

A 報告できている。

Q 今後、用地買収も必要となる中、繰越ということでは無理があるので

A 繰越はあくまでも設計後、土地を買い取るということもある。

Q 完成はいつになるのか。

A 平成31年度となる。

防災対策

総務産業建設常任委員会

視察報告

5月30日から6月1日までの3日間、静岡県に行政視察に行ってきました。

今回の視察の目的は、離岸堤や防潮堤、また海抜の低い低湿地の冠水対策について、視察研修をしてきました。

本町では、大きな課題であった浜ノ瀬地先海岸における、高波・侵食被害の抜本的対策となりうる、離岸堤建設に向けた計画が進められようとしていると伺っています。

また、念願であった西川の河川改修も着工し、進められています。

今回、そうした対策の先進地を視察することは委員会として、さらに見識を深め、今後の対応に

あたる上で有意義であると考えています。

最初の視察地、駿河海岸は急峻な地形の為、波浪が直接海岸に届き昭和41年、54年には高潮・高波が越波して家屋の流失などの被害が出ています。現在は、有脚式離岸堤が9基完成しており、またブロック式の離岸堤も併設されています。



双方の離岸堤には長所・短所があり、有脚式は構造上、比較的深い所にも設置でき、海面からの露出も少なく、景観にも配慮されています。

またブロック式に比べ壊れにくくなっています。ブロック式離岸堤は比較的壊れ易い反面、修理が簡単で設置費用も安価になっています。

離岸堤設置後は、前浜もかなり回復し効果が出ているとの事です。

また、南海トラフに起因する津波に対し、駿河海岸への津波到達時間は2分から4分程度と非常に短い為、堤防は越波し

ても決壊しにくい作りとし、避難の時間を確保する考えとなっています。

次に、磐田市の二ノ宮地区を視察しました。

当地は、河口から約5キロの地点で海抜は約2メートル、本町の和田不毛は河口から約4キロの地点で海抜は約1〜1.5メートルと大変似通った低湿地です。

二ノ宮地区を通る今の浦川は、平成19年から平



成23年までに2.85キロの流域の河川改修を行い流下面積が拡大され、また30か所近いポンプ場が設置され、その他色々な冠水対策が行われており、成果が出ています。

本町にとっても和田不毛の冠水対策として、ポンプによる排水という考えは避けては通れないところだと思えます。

西川の改修工事が始まった今、和田不毛の完全なる形の冠水対策の為の、次の一手として考察を重ねて行く時期に来ていると考えます。

委員長 碓井啓介



プール開き



和田小学校



ひまわりこども園



松原小学校

2025年国際博覧会の誘致に関する決議

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、和歌山県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、県内各地域の振興や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。

よって、美浜町議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内機運の醸成など、必要な取組みを国、地元

大阪府市、経済界とともに積極的に推進していく。以上、決議する。

人 事

監査委員

美浜町大字吉原
七四八番地

豊田 隆久

お知らせ

8月よりホームページ内で、議会議録が閲覧できるようになります。



あなたの意見をお待ちしております

議会に対するご意見、あるいは「議会だより」を読んだ感想など、何でも結構です。あなたの声を議会事務局までお寄せください。

《連絡先》

美浜町議会事務局
TEL 23-4958 FAX 23-5544
mail gikai@town.wakayama-mihama.lg.jp
URL http://www.town.mihama.wakayama.jp/bunya/mihamachogikai/



議会中継についての お知らせ

本庁舎1階ロビーと中央公民館において、議会中継が視聴できます。ぜひ、ご覧ください。